

第59回日本農村生活研究大会 プログラム

期 日 : 平成**23**年**11**月**25**日 (金) **12:00~17:20**

26日 (土) **9:00~16:00**

会 場 : 山口県健康づくりセンター (山口市吉敷下東三丁目 1-1)

大会企画のテーマ「生活復興の時代
～生活改善の視点を重視したコミュニティ再生の取り組み」

★基調報告 **25日(金) 13:00~15:00**

「結・手間替・頼母子・ゆかりの再考：国際協同組合年における」

熊本学園大学教授 小川全夫 先生

活動事例報告 ・次世代につなげたい 私たちの生活改善活動
・豊浦地区の聞き書き集の取り組みを通して考えること

★座談会 **26日(土) 14:00~16:00**

分科会形式で2つのテーマについて話題提供と自由な意見交換を行います

- 座談会1 「新たなコミュニティづくりへの展開」
- 座談会2 「震災復興における農村生活研究の役割」

主 催 : 日 本 農 村 生 活 学 会

共 催 : 山 口 県

山口県生活改善実行グループ連絡協議会

【第1日（11月25日・金）】

一般受付（12：00～ ）

（1）開会式（12：45～13：00）

挨拶 日本農村生活学会会長
山口県
山口県生活改善実行グループ連絡協議会会長

（2）基調報告（13：00～15：00）

テーマ「生活復興の時代 ～生活改善の視点を重視したコミュニティ再生の取り組み～」

現在、山口県においても多くの農山漁村では、生産の縮小や集落機能が低下し、むらの暮らしの存続が懸念される声も聞かれますが、むらには以前から生産を基盤とした暮らしが営まれており、貴重な知恵・技、文化が育まれてきました。

また、今年3月11日の東日本大震災を受け、人と人との繋がる根のある暮らしに価値を見だし、コミュニティのあり方、暮らしの技術の再構築が必要となっております。

この様な中、山口県では、これまでも生活改善実行グループを中心に、それら（知恵・技、文化）を収集・蓄積し、次世代に継承するなどの活動を通して、地域にある力を結びつけた地域活動興しを行っています。

こうしたグループ活動の実績を踏まえ、女性・高齢者等が、農山漁村の知恵・技、文化の中から、「むら・人・暮らし」の価値を見つめ直し、むらの活力創造につなげていくための方策を考え、かつ、都市生活者への活動のヒントを見出す一助とします。

1 講演

「結・手間替・頼母子・ゆかりの再考：国際協同組合年にむけて」
熊本学園大学教授 小川全夫 先生

2 活動事例報告

（1）次世代につなげたい 私たちの生活改善活動
周南市生活改善実行グループ熊毛支部グループ員
田村和江氏・藤井康子氏

（2）豊浦地区の聞き書き集の取り組みを通して考えること
下関農林事務所 農業部 和田幸恵 技師

休憩（15：00～15：20）

(3) 一般報告 (15:20~17:20)

- ① 都市住民の農業・農村に対する15年間の意識の変化
中央農研センター 農業経営研究領域 飯坂 正弘
- ② 農村高齢者の生活自立ー佐賀県の中山間地の集落を事例にー
佐賀大学女性研究者支援室 橋本 芳
- ③ 集落資源利用と教育ネットワークの確立
IWAD 環境福祉専門学校 持田 紀治
- ④ 食生活の構造に関する研究ー米食の機能について(その2)ー
共立女子短期大学生生活科学科 黒澤美智子
" 小西 亜季
- ⑤ 農福連携における地域間交流への展開意義
(独) 農研機構 農村工学研究所・明治大学 澤野 久美
(独) 農研機構 農村工学研究所 石田憲治・片山千栄・坂根勇
- ⑥ 次世代食糧消費の予測に関するー考察
旭学園 佐賀女子短期大学 坂本美須子

(4) 情報交流会 (18:00~20:00)

【第2日 (11月26日・土)】

(1) 一般報告 (9:00~11:40)

- ① 知的障害者更生施設による農業を活用した訓練および関連事業への取り組み
ー農村地域に暮らす障がい者の就労の場の拡大にむけた支援課題の抽出ー (仮)
(独) 農研機構 農村工学研究所 片山 千栄
" 石田 憲治
- ② 男女共同参画社会における女性農業者の地位向上と情報アクセス (仮)
昭和女子大学人間社会学部 粕谷美砂子
- ③ 中山間地域居住の子育て世帯の支出構造把握の試みと地域振興策への利用可能性の考察
ー島根県M市、O町、I市、広島県K町の居住世帯を対象としてー
島根県中山間地域研究センター 有田昭一郎
- ④ 酪農における離農農家の離農要因と離農後の生活ー聞き取り調査からの戦後酪農離農史
愛媛大学連合農学研究科特定研究員 三好 豊

- ⑤ 自主防災の観点から見た農村地域の生活環境
 ー手作り防災マップ作成のための環境点検調査の進め方ー
 (独)農研機構 農村工学研究所 重岡 徹
- ⑥ 農村ツーリズムによる中山間地域活性化の方向性
 ー石川県河北郡津幡町河合谷地区を事例としてー
 共栄大学国際経営部 中村 哲也
- ⑦ 東日本大震災後の農産物直売所を巡る状況と対応
 ー茨城県内のA直売所を事例としてー
 (独)農研機構 農村工学研究所 唐崎 卓也
- ⑧ 群馬県農村女性起業の実態と普及活動
 群馬県農政部技術支援課普及指導室 狩野美紀代
 " 清水 千鶴

(2) 学会賞授与式 (11:40~12:00)

(3) 昼食 (12:00~13:00)

(4) 総会 (13:00~14:00)

(5) 座談会 (14:00~16:00)

- 座談会1 テーマ「新たなコミュニティづくりへの展開
 ～むらおこしを続けてきた原点は 生活改善の精神です。～
 (～渋川生活改善実行グループの取り組みをモデルとして～)」

渋川グループは昭和30年代より活動を開始した3つのグループが、昭和54年に話し合いの場としての集会所づくりのために一緒となり活動を始めました。その後、それぞれ我が家や地域の課題解決のために活動を展開したことが地域から認められ、渋川グループリーダーが平成15年6月に発足した「渋川をよくする会」会長に就任しました。

現在、集落営農法人の結成による、営農も含めた地域経営に取り組む核となっているグループ員が、グループ活動と共に地域活性化の中心的役割を果たしてきた事例から、時代の要請に応じて渋川地域で能力発揮してきた女性達の活動とそれを支援してきた生活改良普及員・農業普及指導員(生活専門)等の活動をひもとくことにより、生活改善のあり方を考えます。

話題提供： DVD 視聴(JICA 作成教材) 生活改善から起業へ そして村おこしへ
 ～渋川生活改善実行グループの事例～

安永 芳江 氏 渋川をよくする会会長(渋川生活改善実行グループ員)
 西尾 政恵 氏 元山口県専門技術員
 柴田 しほ 氏 山口農林事務所企画振興室 主任

進行：吉武 和子 氏 (山口県農林水産政策課 農山漁村・むらおこし推進班長)

●座談会2 テーマ「震災復興における農村生活研究の役割」

東日本大震災は、東北3県の沿岸地帯を中心とした広い範囲で、大規模な地震と津波、原発事故による放射能汚染により、甚大な被害をもたらしました。こうしたなか、様々な学会や団体が震災の被害に関する調査活動や復興計画の策定に取り組み始めています。既に、ハードあるいはソフト面での技術的な対応に関する提案が行われています。しかし、そこに住む人々の「想い」や、「暮らし」のあり方に対して、十分に目が向けられているとはいえません。それらへのアプローチは、農村生活研究に期待される役割といえるでしょう。この座談会では、農村生活研究の視点から現在行われている実践活動を参考に、農村生活研究が震災復興に果たす役割や可能性について考えます。

話題提供：

- ・津波被災地の復興計画 ー岩手県大船渡市吉浜集落の事例ー
山本 徳司 氏 (独)農研機構農村工学研究所
- ・原発被災農村における、農の再建と暮らしと心の再建について
ー二本松市東和地区の取り組みを中心にー
飯塚里恵子 氏 茨城大学農学部博士特別研究員
菅野 和泉 氏 ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会

進行：室岡 順一 氏 (近畿中国四国農業研究センター)

(6) 閉会式 (16:00)

挨拶 日本農村生活学会会長

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

○大会参加費等について

・参加費（要旨代を含む）	日本農村生活学会会員	4,000円
	非会員	6,000円
	学生会員（含非会員）	2,000円
・要旨のみ		2,000円
・情報交流会		4,000円

○ご宿泊について

各自で直接ご予約頂くようお願い致します。

○会場へのアクセス

新山口駅（新幹線）から

- ・JR（山口線）湯田温泉駅下車 1.5km 徒歩約20分（タクシー有）
- ・防長バス（山口方面行き）大橋停留所下車 徒歩5分

山口宇部空港から

- ・宇部市交通局（バス）山口宇部空港～新山口駅（所要時間約45分）
- ・JR（宇部線）草江駅（空港最寄り）～新山口駅（所要時間約40分）



お問い合わせ先：〒394-0047 長野県岡谷市川岸中1-6-56
NPO 法人 農と人とくらし研究センター内
日本農村生活研究大会実行委員会（担当 片倉和人）
TEL 0266-78-4774 FAX 0266-22-4849
E-mail : nouhito@rircl.jp

参加申し込み先：大会実行委員会事務局（参加費は当日徴収いたします。）

TEL・FAX : 029-838-7610
E-mail : xx052014@affrc.go.jp